



「いつまでも、住み慣れた地域で、安心して暮らしたい」
 少子高齢化社会が進む現在、そんな願いをかなえるため、地域の人たちがお互いに支え合う活動が重要になっています。
 地域のために、気軽に相談できて頼りになる福祉ボランティアの方々が、一生懸命活動している場が「福祉のまち推進センター」です。
 今月は、頼れる身近な存在である各地区「福祉のまち推進センター」を紹介します。

西 町

「福祉マップ」作りの取り組みを拡大



▲「福祉マップ」作成の様子

18年度より、町内会単位で民生委員・児童委員と協力して、高齢者世帯などの状況を地図で示し、日常生活支援を円滑に行うための「福祉マップ」作りに取り組んでいます。

少子高齢化が進む中で、高齢者が住み慣れた街で安心して暮らしていくためには、地域ぐるみの温かい見守りが必要です。

「福祉マップ」で高齢者の情報を把握することは、日常生活支援のほか、災害時の安否確認にも大いに活用できると考えています。

詳細 西町地区福祉のまち推進センター（西町北6）
Tel661-2591

琴似二十四軒

「高齢者見守りマップ」の作成



▲地域の見守りパネルディスカッション

3月1日に福祉活動の拠点「憩の杜」を開設し、毎週火・木・金曜の午後1時～3時に当番員3人が、日常生活にかかわることなど高齢者の相談を受けています。

この地区は、高齢者の孤独死が問題となっていることから、重点テーマを「向こう三軒両隣から」としました。一昔前にはよく見られた隣近所の助け合いの精神に返り、町内会単位で「高齢者見守りマップ」を作成し、地域が高齢者を見守る取り組みに着手します。

詳細 琴似二十四軒地区福祉のまち推進センター（二十四軒3-4）Tel641-0294

八 軒

健康づくりで高齢者の交流を支援



▲「お花見ウォーキング」

健康づくりと住民同士の交流を目的とした「お花見ウォーキング」の開催や健康講座の実施などにより、高齢者の健康増進のための取り組みを行っています。

今年は5月8日に「お花見ウォーキング」を開催し、60歳以上の方約60人が参加しました。はじめに介護予防センター八軒の担当者から正しい歩き方の講習を受けた後、晴れ渡った空の下、八軒会館から農試公園までの道のりを元気に歩きました。

詳細 八軒地区福祉のまち推進センター（八軒1西1）
Tel643-2351